



新成人代表
しもしょう ゆうや
下條 友也 さん (今福町)

私は現在、長崎県立大学に通っています。経営学部にも所属し、簿記や会計学、マーケティングなど広い範囲の学修をしています。私が高校を卒業し、大学に進もうと決めた理由には、地元で活躍できる人材になるためというものがありました。どんな形で活躍できるかは分かりませんが、今まで育ててくれたこの地元、松浦に恩返しができるように今の時間を大切に、日々頑張りたいと思います。

私たちは職業に従事している人、今年度からする人、学業に励んでいる人と、立場の違いはございますが、新社会人として皆さまの仲間入りをさせて頂く喜びを噛み締めながら、責任の重大さを痛感しております。

今の私がいるのも、この松浦で出会えた恩師や地域の方々のおかげです。そして、信頼できる友人たちは大切な存在です。そんな友人たちに出会えて私は幸せに感じます。これから先「不安」や「期待」それぞれあると思いますが、どんな困難も乗り越えて、人生に挑んで行きたいと思っています。

※紙面の都合上、一部割愛させていただきました。

平成30年松浦市成人式が1月4日、文化会館で開催されました。

今年市内の新成人は280人。式典は宮木武蔵さん(星鹿町)と松本湖幸さん(志佐町)の司会で進められました。

友広市長は、「皆さんは晴れて成人の仲間入りをされ、多くの「権利」を得ると同時に「自覚と責任」も求められます。これまでの二十年間を振り返り、今一度、自分にとっての財産とは何かを心に問いかけてみて下さい。そして、これからもその財産を大切に、更に増やしてください。成人し、自立して生きていくうえでは、楽しいことばかりではありません。きつと、困難な壁にぶつかった時、その財産の大きさがわかると思います。」と式辞を述べました。

その後、代表者が「二十歳の抱負」を述べ、最後に金内祐壱さん(鷹島町)が交通安全宣言を行いました。

平成30年松浦市成人式



二十歳の抱負



新成人代表

吉田 穂乃香 さん (福島町)

私は現在、養護教諭を目指し、福岡県の短期大学に通っています。昨年、母校で養護教育実習をさせていただき、実際に子どもたちと関わらせていただいた日々は、数多くの学びを得ることができました。同時に、この実習を通して改めて、子どもたちの心に寄り添えるような養護教諭になりたいと思いました。今後、さらに努力を積み重ね、勉学に励み、将来、子どもたちの健やかな成長を支えることができるような、望ましい養護教諭になりたいと願っています。

私たちは二十歳という大きな節目を迎えましたが、社会人としてはまだまだ未熟です。また、私たちそれぞれについても、すでに社会に出て働いている人、学生として勉強中の人、あるいは未だ将来の進路に迷っている人など、さまざまです。昨今の社会は、まだまだ不況も懸念され、経済変化も激しく、若い私たちにとっては、大変厳しい環境の中にあります。しかしながら、私たちは成人として晴れの門出を迎えた今こそ、大人としての自覚をしっかりと持ち、責任のある社会人として常に前向きに歩いていくことをここに誓います。

※紙面の都合上、一部割愛させていただきました。

